

市レク実施報告：「大坂夏の陣・真田信繁の死に涙する徳川家康」を訪ねるコース

生駒市レクレーション協会 10/5 報告：油布正俊

活動の名称	大坂夏の陣・真田信繁の死に涙する徳川家康を訪ねる
実施日	令和6年10月5日（土）9:30 から 12:00 予定。以下徒歩
探訪ポイント	<p>○9:30 JR 天王寺駅中央口みどりの窓口前集合（北口にトイレ）。</p> <p>○JR 天王寺駅公園口前の交差点を渡り、大坂夏の陣での本多忠朝が進んだであろう進路をたどる（推定）。清水地蔵尊を西に曲がり庚申堂を目指す。忠朝の思わぬ行動が徳川、豊臣方双方の戦略を崩壊させる。忠朝の突出した行動がポイント。</p> <p>○四天王寺庚申堂：大坂夏の陣の道明寺・小松山の後藤又兵衛の奮戦、誉田の真田信繁と伊達政宗の戦鬪、薄田兼相の奮戦死、木村重成の討死等5月6日の戦いを回想し、豊臣・徳川方の布陣を説明。翌日、四天王寺南門から庚申堂の毛利勝永が布陣を変更準備中に本多忠朝がこのこやってきて、この小競り合いから、豊臣、徳川両陣の意図せぬ戦いの先端が開かれた。本多忠朝の二日酔い？</p> <p>○庚申堂から毛利勢に巧妙に追い立てられた忠朝の進路を辿って茶臼山に行く。 茶臼山：冬の陣ー徳川家康の本陣。夏の陣ー真田信繁の本陣、（記念撮影）</p> <p>忠朝の愚行で、豊臣方の戦略の変更。「大坂城の南側の布陣」から単独に「家康の首狙い」へ変更。毛利勢と真田勢の連携で徳川方の三重の布陣を撃破し、家康に肉薄する。決戦前夜の真田信繁と伊達・片倉小十郎重長の密約（仙台真田家）。</p> <p>○一心寺存牟堂（大坂夏の陣資料館）：夏の陣屏風解説&動画。休憩（トイレ）</p> <p>○一心寺：本多忠朝の墓（五輪塔）、大坂城の抜穴（井戸）、霧降の松</p> <p>○安居神社（安居天神）：伝真田信繁討ち死の場所、幸村7人の影武者、首実験 真田幸村公像、真田寄り掛かりの松（二代目）</p>
参加者	木村、奥田、油布。（参加者）：29名（全員中央口みどりの窓口で集合）
ハイキングのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・大坂夏の陣が戦国最後の戦いであったと同時に徳川幕府の基礎を固めたもの。歴史には意図せぬ出来事で結果が左右されることがある。 （5月6日の濃霧と道明寺の戦い、本多忠朝の若気の至りで両軍の戦略変更等） ・豊臣方の作戦が、忠朝の勇み足で、戦略の変更を迫られた。 ・真田信繁が子供を伊達家片倉小十郎重長に託したこと。仙台真田家と末裔の存在 ・真田信繁の7人の影武者と首実験時の徳川方の混乱。
天候	天候は良好でまさにハイキング日和であった。
参加装備	・軽装ハイキング装備・飲料水持参。
<行程> ◎トイレ	・9:30JR 天王寺駅中央口◎一庚申堂一茶臼山◎一一心寺大坂夏の陣資料館◎一一心寺◎一安居神社（現地解散）11:30

経過時間	全行程： 約 2時間	説明ポイント：各史跡
------	------------	------------